

川崎市・米国ボルチモア市 姉妹都市提携45周年記念特集

川崎市は1979年6月14日に、アメリカ合衆国で最も歴史ある都市の一つ、メリーランド州のボルチモア市と姉妹都市提携を結び、その後も川崎市市民交流団やボーイスカウト派遣隊、川崎教員相互派遣などで、お互いに交流を重ねてきました。今号では、ボルチモア市で姉妹都市間の交流に積極的に取り組まれている「ボルチモア・川崎姉妹都市委員会(The Baltimore-Kawasaki Sister City Committee (BKSCC))」のメンバーからボルチモア市を紹介していただきました。

日本の皆様は、ボルチモアという街からどんなことを想像されるのでしょうか？野球チーム「オリオールズ」、香辛料をまぶしたカニ料理、ミュージカル「ヘアスプレー」、年配の方々にとってはイギリスのエドワード8世を退位に追いこんだシンプソン夫人にまつわるエピソードでしょうか。

大都会フィラデルフィアとワシントンD.C.のほぼ中間に位置するこの場所には、まるで時間が止まって取り残されてしまったかのような独特の雰囲気があります。古くからブルーカラーの街と言われながら、一方でイギリスの影響を受けたハイカルチャーの存在(例えば、教会等の塔の多い英国煉瓦造りの建造物)とも相まって魅力的な街を創り出しています。ボストンにもニューヨークにもない、噛めば噛むほどに増してくるその味わい深さにすっかり魅了され、今日まで定住するに至っています。

近年、建物の老朽化に伴い、再開発が盛んになりました。しかし、昔からある魅力的なスポットは出来るだけ保存され、そこに盛んなモダンアートの拡がりと共に新しい建造物が一味加わることで、ユニークな街並みを醸し出しています。

数多くの観光名所がありますが、地元住民としての私のお薦めスポットをご紹介します。



マウントバーノンプレイス
**マウントバーノン
プレイス**

ここを見ずしてボルチモアに来たとは言えません。住宅街のど真



ワシントンモニュメント

ん中にあるワシントンモニュメントを眺め上げ、エドワード8世夫妻が常宿した邸宅も含めて威風堂々とした家々を見ながら散歩すると、19世紀から20世紀にかけてのボルチモ

アの栄光を感じるすることができます。

スクエアの一角に位置するピーボディ音楽院には世界一美しいと言われる図書館があり、一見の価値があります。

また、忘れてならないのは近所にあるウォルターズ美術館です。ここには鉄道事業で財をなしたヘンリー・ウォルターズの両親が世界中から収集した2万2000点のコレクションが展示されています。



ジョンズホプキンス大学
ピーボディ音楽院

BMA (ボルチモア美術館)

500点以上のマチスのコレクションは必見に値します。1898年から1949年までパリに住んでいた、ボルチモア出身のコーン姉妹の貢献によるものです。その昔、ニューヨークのメトロポリタン美術館が入手できずに大いに悔しがったと聞いたことがあります。

フォートマックヘンリー要塞



フォートマックヘンリー

1812年に始まった米英戦争中に、フランシス・スコット・キーが力強くはたらく星条旗をみて詩を立案した、アメリカ国歌発祥の地として知られています。パピリオン内ではその様子を描いた映画が上映されています。フィナーレは感動的なので最後まで鑑賞されることをお薦めします。また、1931年に植樹された桜の名所としても知られており、毎年3月下旬にはBKSCC主催の花見会が行われます。



BKSCCの花見会



川崎市および川崎市民から贈られた石灯籠と友愛の碑

ペープ・ルースの家と博物館

野球好きの方には必見の名所で、ルースの少年期、19世紀後期の家具が置かれ、彼の功績に関する展示と共に、生まれた時の部屋が再現されています。

インナーハーバーエリア

再開発中なので昔ほどの活気はないものの、太平洋戦争、朝鮮戦争、ベトナム戦争で活躍した艦船が停泊し、一部は乗船することもできます。また、ナショナル水族館もあり、未だに見応えのある場所です。

1984年に、姉妹都市提携5周年記念で、川崎市および川崎市民から贈られた石灯籠と友愛の碑も建立されています。



インナーハーバーエリア

最後に

ボルチモアで出会うほとんどの人がこの街の出身で、彼らの強い愛郷心には驚かざるを得ません。若い時に他の地域に住んでも、皆、また戻って来ようです。大都市に近い地理的条件、恵まれた気候、住みやすさが理由でしょうか。一時は、アメリカで最も人気のある観光地として知られていましたが、近年、治安の悪さが問題になりました。これに対して住民は丸となり、さまざまな観点から解決しようと、日々努力を重ねています。



文・写真
畑山 貴代

BKSCCメンバー

熊本市出身。東京で歯科医師として就業後、1980年代に留学生として渡米。ボストン、ニューヨークを経て1990年代後半よりボルチモアに在住。ボルチモアの街を目にして絵心をそそられ、歯科医の仕事の合間に、ひたすら建物を描いている。



写真
Michael Young

BKSCCの会計担当

アーティスト、キュレーター、ビジネス、コンサルタント、教育者、起業家。2008年設立のプロダクションを通してイベントプロデューサーやアーティストマネージャーとしても活動。日本の芸術家や音楽家をアメリカに招待し、日本人への愛、感情、文化を共有してきた。



コーディネーター
塩田 芳信

BKSCCの前共同代表

BKSCCの相談役として、現会長Jay Gordonたちと活動中。メリーランド州立大学Towson UniversityのAsian Arts & Culture Centerのアドバイザー・ボードの代表も長年務める。

多文化共生の
取り組みに
フォーカス!

「外国につながる子どもたちのための高校進学説明会」
自分に合った高校を探したい

外国につながる生徒の保護者は、子どもが高校に行けるのかわからないことがあります。なぜなら、自分の子どもの状況に応じた情報が彼らに届いていないからです。多文化活動連絡協議会は、2010年から地域で外国につながる生徒と保護者向けに、高校進学の情報を得る場を継続して提供をしています。神奈川県においては日本語で授業に参加できない人でも、高校に入学し、日本語の学習と教科の学習を重ねて卒業し、次のステップに進むことが可能ということを知らせています。9月16日に、川崎市国際交流センターで開催した「高校進学ガイダンス～外国につながる子どものため」は、神奈川県教育委員会、認定NPO多文化共生教育ネットワークかながわ、(公財)川崎市国際交流協会と当団体が共同開催しました。43組の世帯が通訳を介した説明を求めて申し込みました。

外国につながる子どもの受入れに積極的な7つの公立高校が教員を派遣し、熱心に説明をしました。制度がわからない人向けの総合相談コーナー、在留資格の変更を考える「子どもビザさば」のコーナーもありました。

来場者からは、「高校に行けることがわかった」、「わかりやすい日本語による高校の先生の説明が良かった」などの感想がありました。高校に入った外国につながる生徒の受験体験談はとても参考になったようです。

先輩へのインタビューのコーナーに、私がかつて出会った、中学3年の時のガイダンスでは日本語が話せなかった生徒がいました。自分が成長できた定時制高校を案内し、日本語能力試験N3にも合格し、流暢に話している姿を見て、「それぞれ自分に合った支援が成長させる力は大さき」「想いが伝わった」と思いました。

当団体の「高校進学ガイダンス」は、在留資格の相談ができることも特徴で、保護者はそこで子どもの将来の就職のために在留資格を変えられることがわかったりします。

笑顔で帰る生徒たちをみると、この事業をつづける重要性を感じます。川崎市立高校の中で、川崎高等学校も日本語が不十分な生徒を支援する「在県外国人等特別募集」の実施を開始しました。さらに、支援する市立高校が増えたらと思い、市教育委員会に働きかけたいと考えています。



「高校進学説明会」の会場



高校の教員による説明

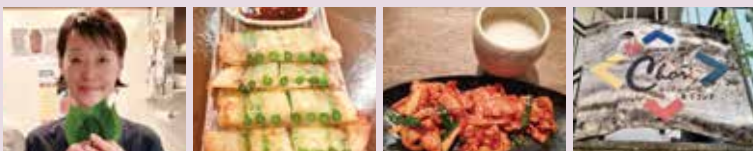
(文・写真:多文化活動連絡協議会 代表 中村ノーマン)

行ってみたいな!
このお店
13

～外国人シェフや外国人と共に、頑張っているお店を紹介～

韓国料理 チョリ

【営業時間】17:00～22:00(L.O. 21:30)
【定休日】水曜、日曜、金・土以外の祝日
【住所】〒211-0041 川崎市中原区下小田中1-8-2 KFAビル別棟 2F
【電話】044-777-6774



オーナーの曹成子さん アスパラのチヂミ 豚キムチ炒めとマッコリ お店は2階です

武蔵中原駅からすぐの隠れ家的韓国料理店。開業は2000年。当時は武蔵小杉駅近くにあり、川崎フロンターレの選手も大勢食べに来ていたそう。再開発の道路拡張の余波で、現在の地に移り、10年経ちました。壁にはK-POP、川崎フロンターレ、富士通レッドウェーブのポスターとオーナーの曹成子さんが作るお料理の写真が並びます。クリスタルプレートで焼くサムギョプサルがおすすめで、お弁当のテイクアウトも可能です。季節の食材のチヂミ、チャプチェ、卵焼き、トッポギ、チゲ各種、どれも美味しく、女性一人でも赤ちゃん連れでもOK。韓国のお酒を楽しみたい方も是非いらしてください。

(取材・文・写真:編集ボランティア 内田美加)

川崎で頑張っている
民間団体紹介

60



日本ロレアル株式会社とstudio FLATとの協働事業

作品の魅力そのものを「FLAT」に感じてほしい

「studio FLAT」はアート活動を通して利用者皆の魅力を最大限に引き出す生活介護事業所(NPO法人)で、アートによる共生および経済的自立を支援しています。組織名の「FLAT」には、障がいのあるなしに関わらず、作品の魅力そのものをFLATに感じてもらいたいというコンセプトが込められています。「障がい者アート」など特定の呼称がないFLATな社会を目指し、地域社会と連携して廃材・端材の有効利用などSDGsに向けた活動を推進しています。

そうしたSDGs活動の一環として、2023年4月から日本ロレアル株式会社(注1)との協働事業として、社内カフェスペースでのARTサブスク(注2)を始動しました。10月からは、廃棄予定のロレアル製品をアップサイクル(注3)して絵の具を作り、その絵の具の一部を使用して作品を制作し、サブスクサービスとして展示発表しています。SDGsと美とARTを融合させて社会に貢献しようという、先駆的かつ画期的でサステイナブルな取り組みを続けています。

注1)「世界をつき動かす美の創造」をパーパス(社会的な存在価値や意義)として掲げる化粧品会社

注2) subscriptionの略。ここでは料金を支払うことで、一定期間「studio FLAT」のART作品を展示できることを意味する。

注3)捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。



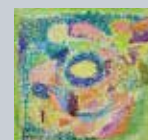
廃棄予定のロレアル製品をアップサイクルした絵の具



Artist 安藤未央【ANDO MIO】
Title ハイビスカス
Material アクリル絵の具
ロレアル廃棄製品
455mm×455mm



Artist 若林春名
Title 音符と音楽
Material アクリル絵の具
ロレアル廃棄製品
455mm×455mm



Artist 前田更紗
Title 点の世界
Material アクリル絵の具
ロレアル廃棄製品
455mm×455mm

studio FLAT

代表:大平 曉

団体ホームページ:<https://studioflat.or.jp/>

Event & Lecture イベント・講座案内

川崎市国際交流協会・センターの事業(予定) 2025年1月～3月

※開催時期や内容の変更、中止する場合があります。ご了承ください。

外国人のための日本語講座

◎午前コース(火・金) 1月7日～3月7日

9:50～11:50 9,350円(17回)

※1歳から子どもを あずける ことが できます。

◎夜間コース(水) 1月8日～3月5日

18:30～20:30 4,950円(9回)

いろいろな国のことばで世界の絵本と紙芝居

11日(土) 11:00～12:00

無料・申込不要

いろいろな国のことばを使って、さまざまな国の絵本を読んだり、紙芝居をしたりします。

グローバルセミナー 11日(土) 13:00～16:00

映画「アリラン・ラプソディー」の上映と監督のお話。

映画に出演したハルモニ(おばあちゃん)たちも登場!

定員:200名(先着) 入場料:660円

申込はこちら→

外国につながる子どものための小学校入学説明会

25日(土) 13:30～16:00

無料

日本の小学校ってどんなところ?入学式までに準備するものは?いろいろなことがわかる説明会です。

対象:外国につながる子どもと保護者

※通訳があります。1歳以上の子どもの保育があります。

(どちらも予約が必要です)

フランス語による国際理解講座 1日(土) 13:00～14:30

外国人市民による「日本語スピーチコンテスト」

8日(土) 13:00～16:30(交流会15:30～16:30) 無料

さまざまな国からきて、川崎で学んでいる留学生や働いている社会人が日本に来て感じたこと、思ったことを日本語でスピーチします! 定員:200名(交流会は要申込)

※来日5年以内の外国人出場者を募集!(1月14日(火)締切)

外国人市民とともに進む防災訓練

21日(金) 10:00～12:00

無料・申込不要

外国人のあなたも一緒に防災訓練をしてみませんか?

韓国語による国際理解講座 8日(土) 14:00～16:00

地球市民講座 15日(土) 10:30～12:30

無料

「能登半島震災から 氷見市復興の歩み」定員:200名

春休み子ども語学教室 26日(水) 27日(木) 28日(金)

申込:2月下旬から 受講料:3,300円

子ども英会話Aクラス(小学1・2年生)、Bクラス(小学3・4年生)、こどもスペイン語(小学1～5年生)

外国人のための「行政書士による無料相談会」

14:00～16:00

無料

毎月
第3日曜

行政書士に相談ができます。

通訳は予約して お金を はらいます。

川崎市国際交流協会【2024年度賛助会員】 皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

(五十音順)

個人会員

青木茂夫、赤松靖之、安藤節子、飯田誠、石原経弘、磯村正義、伊藤章倫、伊藤紅華、井上一枝、今井弘文、岩井仁志、岩崎功、岩橋ゆみこ、宇田川大樹、内田治彦、大塚耕司、奥田明美、斧秀明、梶富士子、北川郁子、北沢仁美、小島俊彦、小森佐知子、孔敏淑、梶原圭美、佐々木重人、佐野恵子、下田達也、鈴木淳子、武内由美子、玉田尚也、内藤幸彦、中川路のぞみ、永田洋水、中村週次、西広豊子、森妙子、森田美代子、山内憲雄、吉田聖子、鷺巣寧之

団体会員

川崎国際交流茶道研究会、川崎市フラワーデザイン協会、川崎信用金庫住吉支店、行政書士かさまゆみこ事務所、(株)北野書店、日本フラワー紫穂協会、モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合、東京衣裳きもの学院、日舞扇乃会、Lana Hawaiian Quilt

図書・資料室から本のご紹介



“501 quilt blocks” by Joan Lewis and Lynette Chiles (Better Homes and Gardens Books, ©1994)

アメリカ合衆国のパッチワークとアップリケ501枚の図案をまとめた美しいキルトブロック事典です。すべてのデザインに標準サイズの図案つき。眺めるだけでも楽しく、手づくりのアイデア集としても使えます。(本文:英語/In English)



脱炭素社会の実現に向けた取り組み

SDGs

神奈川県・川崎市パートナー登録

モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合

商店街 HP: <https://www.bremen-st.com/>

組合設立50周年

編集後記

国際交流センターがある「元住吉」に来て25年がたちました。元住吉の駅を降りて驚いたのは「モトスミ・プレーメン通り商店街」の活気でした。550メートルに渡る商店街はどこまでいっても人が多く賑わっています。スーパーと個人商店が共存し、いろいろな国籍の店もあります。店巡りをしていると一日中楽しめます。外国人が経営する中華やインド料理は美味しくて、私のお気に入りです。遊びに来た友人に商店街を案内すると、皆、満足して帰っていきます。25年の間に店の変遷はありましたが、活気が衰えない国際色豊かな街。ぶらっと街歩きして文化に触れる、多文化共生もこんなところから始まるのかもしれない。(編集ボランティア 湯澤英子)

企画・校正にたずさわった編集ボランティア(五十音順)

相澤弥生、安藤節子、内田美加、岡崎章、川口俊樹、川野辺幸夫、小島俊彦、正一努、高橋一彦、高橋優子、芳賀扶世世、水野裕子、湯澤英子、李芷君



発行

川崎市国際交流センター

〒211-0033

川崎市中区木月祇園町2番2号

TEL 044-435-7000

FAX 044-435-7010

E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp

<https://www.kian.or.jp/kic/>



川崎市国際交流センターアクセス

公益財団法人川崎市国際交流協会

検索